

統括のコラム



担当紹介：水口 晋太郎

関西学院大学 法学部卒

宇美駅前校の塾長を4年務め、第4学区の上位校に全て合格者輩出経験あり。在職中の公立高校平均合格率96.7%、英語、社会の県模試1位をそれぞれ輩出。現在全校舎の統括責任者として複数校舎の教育に従事。

学習時間は才能を超える？ランチェスター時間の法則！

★ランチェスター時間の法則とは？

ランチェスター時間の法則は、1916年にイギリスの数学者フレデリック・ウィリアム・ランチェスターによって提案された数学的なモデルです。彼は、第一次世界大戦における戦争の戦術を研究する中で、戦力の増減に応じて勝利確率がどのように変化するかを数学的に表現しました。

人生 = 才能 × 時間の二乗 + 過去の蓄積

ランチェスター時間の法則では、人生の成果や成功は「才能×時間の二乗+過去の蓄積」と表現されます。

ここで、**時間の二乗の影響が非常に大きい**点に注目しましょう。

過去の経験や蓄積も重要ですが、**努力と時間の投入量**がより重要な要素となります。

才能が人並みであり、過去に何も蓄積がなくても、**時間の有効な使い方次第で逆転が可能です。**

努力や時間の使い方が重要ということは、**誰でも可能性を秘めている**ということですね。

★ランチェスター時間の法則は、勉強にも応用できます。

2時間の学習時間を基準にすると、2倍勉強するといっても、

単純に時間を2倍にするのではなく、ルートをかければよい。

フレデリック・W・ランチェスター
(1868~1946)



人の**2倍** 勉強しようと思ったら $2 \times \sqrt{2} =$ **3時間** (2倍・・・**苦手が得意に変わる**)

人の**3倍** 勉強しようと思ったら $2 \times \sqrt{3} =$ **3時間30分** (3倍・・・**才能がある相手にも勝てる**)

人の**4倍** 勉強しようと思ったら $2 \times \sqrt{4} =$ **4時間** (4倍・・・**才能がある相手に圧勝できる**)

人の**5倍** 勉強しようと思ったら $2 \times \sqrt{5} =$ **4時間30分** (5倍・・・**その分野でトップが取れる**)

たとえ才能や実力が他の人より劣っていたとしても、**時間を効果的に使い、努力を惜しまなければ、競争において勝利することができる**ということが示されています。実際に私も高校時代にこの方法で学年1位を1年間維持することができました。私の場合は人の3倍といったところでしょうか。皆さんも自分の目標に向かって、努力を重ねることで、成果や成功に近づくことができます。ランチェスター時間の法則を頭に置きながら、今後の学習に希望とエネルギーを持ちましょう！